

城西川越中学校・城西大学附属川越高等学校

クラブ活動に関するガイドライン

基本方針

○クラブ活動を通して、公平さと規律を尊ぶ態度や克己心を養わせ、実践的な思考力や判断力を身につけさせる。さらに、集団の中における自覚を促すとともに、周囲の人達と調和を図ることの大切さを学ばせ「心豊かな人間の育成」を実現させる。

指導体制

- 年間並びに月間活動計画を作成する。
- 活動計画は生徒および保護者に公表する。
- 各クラブとも複数顧問による指導体制を整える。
- 活動は顧問の指導下に行うことが原則であるが、やむを得ず顧問が活動場所を離れる場合には、安全に配慮した活動内容にするとともに、事故防止に努めるように指示をする。
- 気温が35度以上になった場合は、活動の中止を検討する。活動を継続する場合は、水分補給等の休息を入れ、健康管理に十分注意をする。
- 雷が近づいた場合は直ちに屋外の活動をやめ、生徒を安全な場所に避難させる。
- 適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動を促す。

休養日

- 学期中は週1日以上以上の休養日を設けることを原則とする。
- 学期中の活動時間は、原則平日は2時間30分程度、日曜日は3時間程度とする（練習準備、ウォームアップ、クールダウンを含む）。また、練習試合及び合宿練習中の活動時間は必要に応じて延長することができる。
- 定期試験1週間前および試験期間中の活動は原則として休止する（試験最終日は除く）。ただし、大会当日、また大会前のやむを得ない場合は校長に届け出をして活動することができる。この場合、生徒の学習時間の確保に十分留意する。
- 長期休業中の活動も学期中の活動に準ずる。ただし、活動時間については日曜日扱いとする。また、期間中に3日間程度の連続した休養日を設ける。

強化練習

- 年1回、強化練習期間(2週間以内)を設けることができる。但し、参加者はレギュラーとそれに準じるメンバーとし、学業に支障のない範囲で行う。保護者の十分な理解のもと、校長の許可を得て行う

令和5年5月8日

新型コロナウイルス感染症対応

- 生徒の健康・安全の確保のため、顧問が日々の活動状況を確認する。また、活動前後の感染症対策に留意する。
- 集団での移動、食事、宿泊等を行う場合は、感染症対策に留意する。また、事前に生徒等や保護者等の理解・協力が得られるよう、説明・情報発信を行う。
- 陽性者の発生人数に応じた一律の活動停止措置は行わない。ただし、部活動内で集団感染の恐れがある場合には、活動を停止する。(活動を停止した部活動については、公式大会等及び対外試合などの自校以外との活動に参加することはできない。)